

NEWS LETTER

発行:2020年5月20日

株式会社 MIS

〒800-0237
北九州市小倉南区中貫2-7-15
TEL093-471-1584

■医療機関向けキャッシュレスサービス

日本医師会ORCA管理機構では、キャッシュレスサービスを実施する医療機関様のパイロットスタディを募集しています。現在はクレジットカードのみなので一般的な「CAT端末」と同じですが、将来的には交通系のICカードや各種電子マネーが利用可能となる予定です。また、日レセとの連携も可能になる予定です。今回のプランでは我々サポート事業所の出番はありませんが、連携ができるようになったら再度ご案内いたします。なお、現時点での詳細は日本医師会ORCA管理機構のWebサイトをご覧ください。

■オンライン診療

COVID-19対策でオンライン診療のお問い合わせをこのところ多くいただきます。現在の緊急措置として厚生局の届出も研修受講も不要ですが、ホームページに掲載する必要があり、都道府県への届け出や毎月の調査表の提出も必要です。それらについて厚労省からとてもわかりやすいマニュアルが出ていますので一度ご覧いただければと思います。

※厚労省のWebサイトより
「医療課機関が電話やオンラインによる診療を行う場合の手順と留意事項」

オンライン診療するにあたりシステムが必要か？

この質問が特に多かったのですが、以下が判断基準となるかと思えます。

- ①COVID-19が収束するまでの臨時的な対応
- ②COVID-19が収束しても続けたい

①であれば、システムの投資や労力は正直もったいないです。電話だけか、LINEビデオを使うかで対処されてはどうでしょうか？それにオンライン診療システムを途中で止めるのもなかなか難しくなります。（予約機能などがあるので）やはりシステムを導入するならば②の場合となります。

お問合せ急増

■オンライン資格確認

マイナンバーカード急速に普及！

日本の住民全員へ支給される「特別定額給付金」の申請のおかげでマイナンバーカードを作成する人が急増している様子がニュースになっています。医療機関においては来年3月よりスタートする「オンライン資格確認」においてマイナンバーカードのみでの受診が可能となりますが、意外に多くの人々が利用されるのではないかと予想できます。「うちは、保険証を提出してもらったからいいや」とおっしゃっていた先生方も補助金があるうちに器材を揃えておいた方が良さそうです。

必要な器材

- ①顔認証付きカードリーダー（支払基金より無償提供）
 - ②専用端末（認定機種を購入）
 - ③連携ソフト（日レセ用）
- ※②③とも補助金対象

補助金申請開始日は未定です。

■支援金の話し

福岡県内の医療機関が対象となる給付金です

今回の新型コロナウイルス感染症において中小企業はもちろん皆様も大打撃を受けていることと思います。（もちろん当社もですが、笑）そして政府や自治体からも様々な支援金（給付金）が緊急的に打ち出されています。福岡市は、独自に医療機関向けの特別給付金を支給することになりました。（福岡市はなぜこんなに早く具体的な支援策ができるのかとつくづく感心します。）北九州市では、中小企業（もちろん診療所も含む）に対し、福岡県の「持続化緊急支援金（5/8申請開始）」に少し上乗せの支援金が5月8日に発表されました。給付金ありがたい話ではありますが。（収束した後の増税等は怖いですが・・・）申請は、オンラインで可能です。条件は前年同月で30%以上50%未満減収した個人及び法人の事業主となります。一度確認してみてもどうでしょうか？

詳細は

福岡県持続化緊急支援金

検索

●PR商品

ORCA連携

自動精算機

NOMOCaスタンド

(特徴)

- ・これ一台で再来受付、自動精算ができる
- ・ORCAと連携
- ・サイズは業界最小、狭いスペースでも設置可能

コロナ対策にも

会計の待ち時間を大幅に削減！

キャッシュレスも

(オプション)

- ・クレジットカード対応
- ・ICカード（交通系など）決済

再来受付
もできちゃう！



資料請求及びご意見ご要望は別紙FAX用紙をご利用ください